

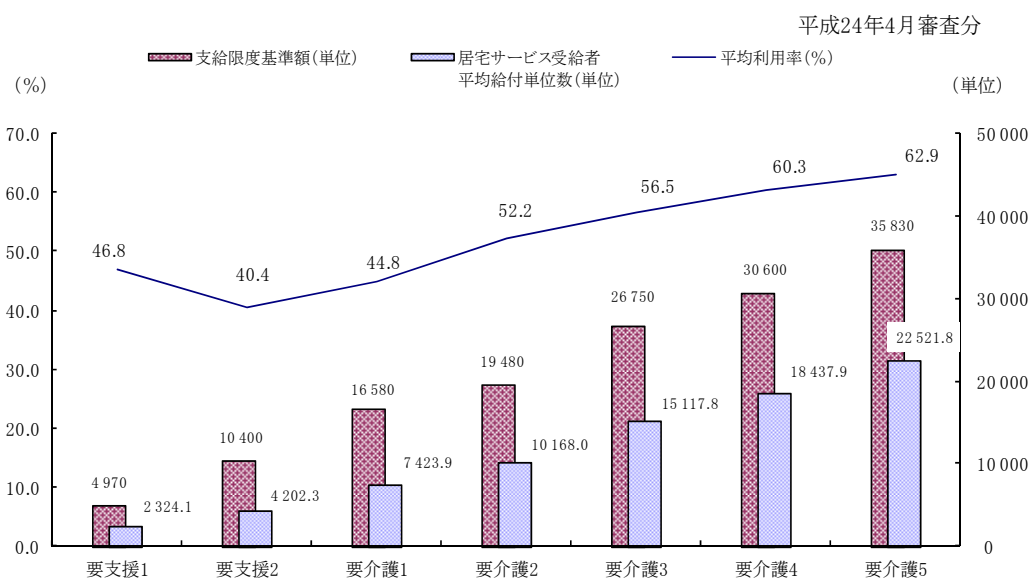
3 居宅サービスの状況

(1) 利用状況

平成24年4月審査分における平均利用率（居宅サービス受給者平均給付単位数の支給限度基準額（単位）に対する割合）を要介護（要支援）状態区別にみると、「要介護5」62.9%が最も高く、次いで「要介護4」60.3%、「要介護3」56.5%となっている（図3）。

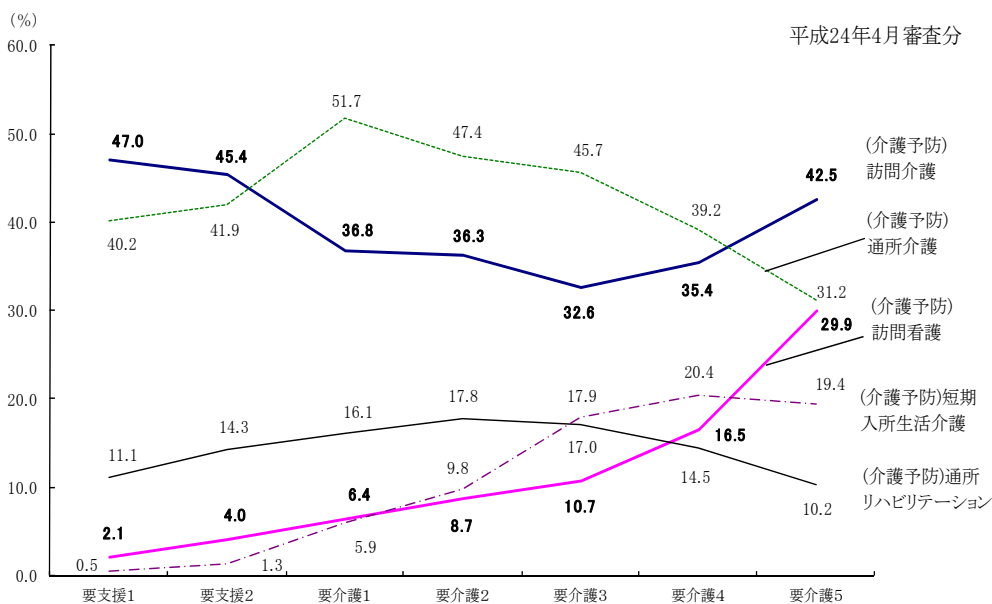
また、要介護（要支援）状態区別に受給者の居宅サービス種類別の割合をみると、訪問介護及び通所介護はいずれの要介護（要支援）状態区分でも3割を超えている。訪問看護は、要介護（要支援）状態区分が高くなるに従って利用割合も高くなっている。（図4）

図3 居宅サービス受給者の平均給付単位数・平均利用率



注: 1) 居宅サービス受給者平均給付単位数 = 居宅サービス給付単位数 / 受給者数
 2) 平均利用率(%) = 平均給付単位数 / 支給限度基準額 × 100

図4 要介護(要支援)状態区別にみた居宅サービス種類別受給者数の割合

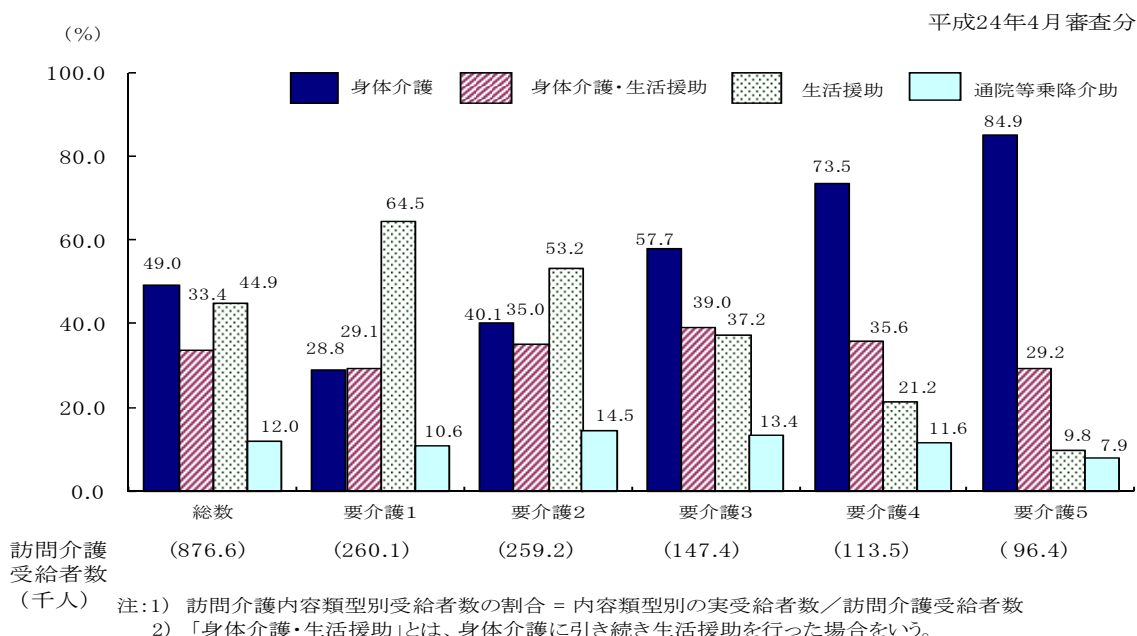


注: 居宅サービス種類別受給者数の割合 = 居宅サービス種類別受給者数 / 居宅サービス受給者数

(2) 訪問介護

平成24年4月審査分の訪問介護受給者について要介護状態区別に訪問介護内容種類の割合をみると、要介護1では「生活援助」64.5%、要介護5では「身体介護」84.9%となっており、要介護状態区分が高くなるに従って「身体介護」の利用割合が高くなり、「生活援助」の利用割合は低くなっている（図5）。

図5 要介護状態区別にみた訪問介護内容類型別受給者数の割合



(3) 通所介護・通所リハビリテーション

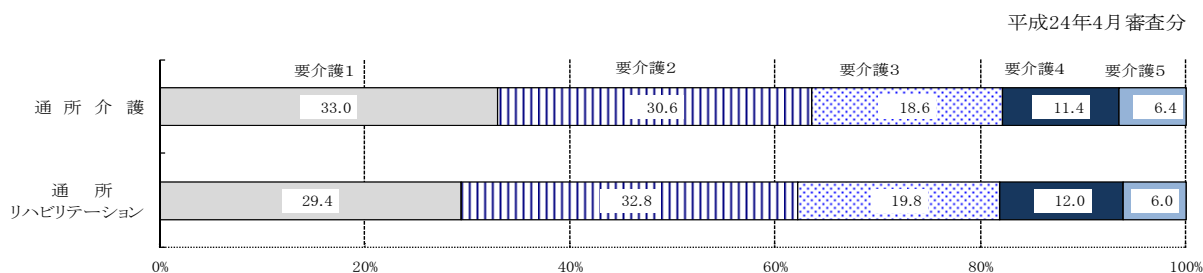
平成24年4月審査分の通所介護と通所リハビリテーションの受給者について要介護状態区別の割合をみると、「要介護1」～「要介護3」が全体の約8割を占めている（表9、図6）。

表9 通所介護－通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数及び割合

平成24年4月 審査分

	通所介護		通所リハビリテーション	
	受給者数(千人)	構成割合(%)	受給者数(千人)	構成割合(%)
総数	1 106.1	100.0	387.2	100.0
要介護1	365.4	33.0	113.9	29.4
要介護2	338.3	30.6	126.8	32.8
要介護3	206.2	18.6	76.8	19.8
要介護4	125.6	11.4	46.5	12.0
要介護5	70.6	6.4	23.1	6.0

図6 通所介護－通所リハビリテーションの要介護状態区別受給者数の割合



(4) 福祉用具貸与

福祉用具貸与種目別に、1年間の単位数の割合をみると、「特殊寝台」が33.1%、「車いす」が20.5%となっており、「特殊寝台付属品」及び「車いす付属品」を含めると、特殊寝台及び車いすの貸与が全体の約7割を占めている（表10）。

また、平成24年4月審査分の要介護（要支援）状態区分別件数の割合をみると、「体位変換器」や「床ずれ防止用具」で要介護5の割合が高くなっている（図7）。

表10 福祉用具貸与種目別にみた件数・単位数

	件 数				単 位 数			
	平成23年度 (千件)	構成割合(%)	平成22年度 (千件)	対前年度 増減数(千件)	平成23年度 (千単位)	構成割合(%)	平成22年度 (千単位)	対前年度 増減数(千単位)
総数	57 123.0	100.0	51 505.7	5 617.2	22 508 664	100.0	20 817 633	1 691 031
車いす	6 846.5	12.0	6 405.7	440.8	4 615 742	20.5	4 417 128	198 614
車いす付属品	2 165.6	3.8	1 968.4	197.3	404 190	1.8	368 669	35 521
特殊寝台	8 047.1	14.1	7 496.0	551.0	7 456 987	33.1	7 020 178	436 809
特殊寝台付属品	22 696.2	39.7	20 990.5	1 705.6	3 099 159	13.8	2 902 804	196 355
床ずれ防止用具	2 507.9	4.4	2 341.8	166.1	1 627 016	7.2	1 527 577	99 440
体位変換器	262.7	0.5	225.8	36.9	69 986	0.3	64 893	5 093
手すり	7 156.8	12.5	5 506.3	1 650.6	1 986 005	8.8	1 546 475	439 530
スロープ	1 338.1	2.3	1 209.5	128.6	821 116	3.6	753 622	67 494
歩行器	4 017.9	7.0	3 451.2	566.7	1 166 800	5.2	1 011 391	155 409
歩行補助つえ	1 278.0	2.2	1 150.9	127.1	142 909	0.6	129 531	13 378
認知症高齢者徘徊感知機器	134.7	0.2	103.4	31.3	89 960	0.4	72 187	17 773
移動用リフト	671.5	1.2	656.2	15.3	1 028 794	4.6	1 003 179	25 615

注：各年度とも5月審査分～翌年4月審査分までの累計である。

図7 福祉用具貸与種目別にみた要介護（要支援）状態区分別件数の割合

平成24年4月審査分

